

2012年12月10日 同志社校友会大阪支部 クリスマス会 支部長挨拶

メリークリスマス！

お元気にご出席いただき嬉しく思います。

本日は、大谷総長・八田理事長学長、そして女子大の加賀学長、校友会の井上会長、同窓会の加藤副会長、同志社香里中高西山校長、香里同窓会の太田副会長、校友会京都石田支部長・兵庫船越支部長・奈良萩原志部長代理、そして各クラブのご代表、後援を頂いております8つの活躍されておられます諸団体の皆様、等々、校友会員併せて350名余名以上の皆様にお集まり頂きました。

ありがとうございます。楽しく、クリスマスを楽しみたいと思います。

来年は、「八重の桜」NHK大河ドラマが始まり、2013年は「福島」と「同志社」の話題の一年間となりそうです。この機会に、「新島襄」と「八重」さんを、よりよく全国に知っていただき、理解を深めていただき、同志社の価値・ブランドを高める事ができればと願っております。

「福島」と「同志社」が、元気になればと思っております。

「ならぬことはならぬのです」・・・福島人を表している

「美德をもって飾りとなす。飾りとせよ。」・・・八重らしい

「ハンサムウーマン」・・・これらは、襄先生、八重先生の言葉です。

ノーベル医学生理学賞を受賞した山中伸弥教授の片腕、高橋和利さんは、同志社大学工学部卒業生。24個の遺伝子から、最後4個を見つけ出すのに「ほんまこいつ賢いんちやうか」と言わしめた高橋さん。初期化に成功。本日出席してほしいとお願い致しましたが、今、山中先生とストックホルムで、受賞式に臨んでおられ残念ながら断られました。当然栄えある賞ですから同行されていることは嬉しい事です。困っておられる人々の、医療に役立つ、次ステップに応用実験研究を成功され、更なる社会貢献で、ノーベル賞を取っていただきたいものです。

校友の我々には、社会にボランティアする役割があり、それぞれが果たしていく努力をせねばならないものと思います。

同志社の心の一つにして、来年度もがんばりましょう。

同志社校友会大阪支部長 宮本 利亮